

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通信）

事業者名：生活協同組合パルシステム東京

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

| 研修カリキュラム（実施要綱別紙1） | |
|---------------------------|-----|
| 講義・演習（実習） | |
| 1 職務の理解 | 6時間 |
| (1) 多様なサービスの理解 | |
| (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | |
| 2 介護における尊厳の保持・自立支援 | 9時間 |
| (1) 人権と尊厳を支える介護 | |
| (2) 自立に向けた介護 | |
| 3 介護の基本 | 6時間 |
| (1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携 | |
| (2) 介護職の職業倫理 | |
| (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント | |
| (4) 介護職の安全 | |
| 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 9時間 |

| 実施計画 | | |
|-----------------------|-----|--|
| カリキュラム名・時間数 | | 実施内容 |
| 1 職務の理解 | 6時間 | 1 職務の理解 |
| (1) 同左 | 3 | (1) 講義のみ |
| (2) 同左 | 3 | (2) 講義・演習：視聴覚教材を用い、働く現場についてグループ毎に話し合って発表をします。 |
| 2 介護における尊厳の保持・自立支援 | 9時間 | 2 介護における尊厳の保持・自立支援 |
| (1) 同左 | 5 | (1) 通信講座のみ |
| (2) 同左 | 4 | (2) 通信講座／講義・演習：介護予防・残存機能の活用をテーマとした事例について、グループで話し合い、発表をします。 |
| 3 介護の基本 | 6時間 | 3 介護の基本 |
| (1) 同左 | 2 | (1) 講義のみ |
| (2) 同左 | 1 | (2) 通信講座のみ |
| (3) 同左 | 1 | (3) 講義・演習：事故予防や安全対策、感染予防等の事例に基づき、介護に関するリスクについてグループで話し合い発表をします。 |
| (4) 同左 | 2 | (4) 通信講座のみ |
| 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 9時間 | 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 |

| 研修カリキュラム（実施要綱別紙1） | |
|---------------------------|-----|
| 講義・演習（実習） | |
| (1) 介護保険制度 | |
| (2) 障害者総合支援制度及びその他制度 | |
| (3) 医療との連携とリハビリテーション | |
| 5 介護におけるコミュニケーション技術 | 6時間 |
| (1) 介護におけるコミュニケーション | |
| (2) 介護におけるチームのコミュニケーション | |
| 6 老化の理解 | 6時間 |
| (1) 老化に伴うところとからだの変化と日常 | |
| (2) 高齢者と健康 | |
| 7 認知症の理解 | 6時間 |
| (1) 認知症を取り巻く状況 | |
| (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | |
| (3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 | |
| (4) 家族への支援 | |
| 8 障害の理解 | 3時間 |
| (1) 障害の基礎的理解 | |

| 実施計画 | | |
|---------------------|-----|--|
| カリキュラム名・時間数 | | 実施内容 |
| (1) 同左 | 3 | (1) 通信講座／講義・演習：介護保険制度の理解を深めるため、申請から支給決定迄のフローチャートを作成します。 |
| (2) 同左 | 3 | (2) 通信講座のみ |
| (3) 同左 | 3 | (3) 通信講座のみ |
| 5 介護におけるコミュニケーション技術 | 6時間 | 5 介護におけるコミュニケーション技術 |
| (1) 同左 | 3 | (1) 講義・演習：言語・非言語コミュニケーション技術を学ぶため、障害者や認知症に応じた対応方法を話し合います。 |
| (2) 同左 | 3 | (2) 通信講座のみ |
| 6 老化の理解 | 6時間 | 6 老化の理解 |
| (1) 同左 | 3 | (1) 通信講座のみ |
| (2) 同左 | 3 | (2) 講義・演習：例題を設定し、その例題に基づいてグループでの話し合い発表をします。 |
| 7 認知症の理解 | 6時間 | 7 認知症の理解 |
| (1) 同左 | 1 | (1) 通信講座のみ |
| (2) 同左 | 2 | (2) 講義のみ |
| (3) 同左 | 2 | (3) 通信講座のみ |
| (4) 同左 | 1 | (4) 講義・演習：認知症の家族事例を聞き、グループでどのような支援ができるか、話し合い発表をします。 |
| 8 障害の理解 | 3時間 | 8 障害の理解 |
| (1) 同左 | 1 | (1) 講義のみ |

| 研修カリキュラム（実施要綱別紙1） | |
|--|---------|
| 講義・演習（実習） | |
| (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | |
| (3) 家族の心理、かかわり支援の理解 | |
| 9 ころとからだのしくみと生活支援技術 | 75時間 |
| ア 基本知識の学習 | 10～13時間 |
| (1) 介護の基本的な考え方 | |
| (2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解 | |
| (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | |
| イ 生活支援技術の講義・演習 | 50～55時間 |
| (4) 生活と家事 | |
| (5) 快適な居住環境整備と介護 | |
| (6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| (7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| (8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| (9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| (10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |

| 実施計画 | | |
|---------------------|------|--|
| カリキュラム名・時間数 | | 実施内容 |
| (2) 同左 | 1 | (2) 通信講座のみ |
| (3) 同左 | 1 | (3) 講義・演習：障害者を持つ家族の気持ちや、家族が抱えるストレスについてグループで話し合っ発表します。 |
| 9 ころとからだのしくみと生活支援技術 | 75時間 | 9 ころとからだのしくみと生活支援技術 |
| ア 基本知識の学習 | 10時間 | ア 基本知識の学習 |
| (1) 同左 | 4 | (1) 通信講座のみ |
| (2) 同左 | 3 | (2) 講義・演習：老化や障害を受け入れる過程での感情や生きる意欲の形成等をテーマに、講師が事例を提示し、グループで話し合い発表します。 |
| (3) 同左 | 3 | (3) 通信講座のみ |
| イ 生活支援技術の講義・演習 | 54時間 | イ 生活支援技術の講義・演習 |
| (4) 同左 | 3 | (4) 講義・演習：事例を示し、共に行う清掃、洗濯、調理等を演習します。 |
| (5) 同左 | 2 | (5) 通信講座のみ |
| (6) 同左 | 6 | (6) 講義・演習：更衣・整容等の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、更衣、整容の実技演習します。 |
| (7) 同左 | 6 | (7) 講義・演習：移動・移乗の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、移動・移乗の実技演習します。 |
| (8) 同左 | 6 | (8) 講義・演習：食事介助方法の基本を学び、利用者を想定し、食事介助の実技演習します。 |
| (9) 同左 | 6 | (9) 講義・演習：入浴・清潔保持の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、入浴・清潔保持の介助方法を考え実技演習します。 |
| (10) 同左 | 6 | (10) 講義・演習：排泄介助方法の基本を学び、利用者を想定し、排泄介助の実技演習します。 |

| 研修カリキュラム（実施要綱別紙1） | |
|---------------------------------|-----------|
| 講義・演習（実習） | |
| (11) 睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| (12) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護 | |
| (実習)* (50～55時間中12時間以内) | |
| 介護実習 | ○時間 |
| ホームヘルプサービス同行訪問 | ○時間 |
| 在宅サービス提供現場見学 | ○時間 |
| ウ 生活支援技術演習 | 10～12時間 |
| (13) 介護過程の基礎的理解 | |
| (14) 総合生活支援技術演習 | |
| 10 振り返り | 4時間 |
| (1) 振り返り | |
| (2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修 | |
| 追加カリキュラム | |
| 計 | (130 時間) |

| 実施計画 | | |
|-------------|----------|---|
| カリキュラム名・時間数 | | 実施内容 |
| (11) 同左 | 6 | (11) 講義・演習：利用者を想定した安眠の工夫、環境整備の実技演習します。 |
| (12) 同左 | 3 | (12) 通信講座のみ |
| (実習)* | 10時間 | (実習)* |
| - | 0 | - |
| 同左 | 4 | 訪問介護事業所のサービス提供に同行し見学します。 |
| 同左 | 6 | 通所介護事業所の仕事を見学します。 |
| ウ 生活支援技術演習 | 11時間 | ウ 生活支援技術演習 |
| (13) 同左 | 5 | (13) 講義・演習：事例から、基本的情報の整理、アセスメント、介護計画をグループで立案し、発表します。 |
| (14) 同左 | 6 | (14) 講義・演習：2事例を使って、一連の生活支援を提供する際の視点、自立に向けた介護過程の展開方法を考え、実技演習します。 |
| 10 振り返り | 4時間 | 10 振り返り |
| (1) 同左 | 2 | (1) 講義・演習：研修や実習を通して学んだことを振り返り、習得したことを確認し、各自発表します。 |
| (2) 同左 | 2 | (2) 講義のみ |
| | | |
| 計 | (130時間) | |